

第 1 2 回「イクメンの星」に選定された中山敦司さんのプロフィールと体験談

ニックネーム	あつし@育児は楽し！
本名	中山 敦司（なかやま あつし）
職業	会社員
年齢	41 歳
イクメン宣言	
子育てを通じて自分も成長する。育児は、育自、そして、教育は、共育、をめざして、育児・子育てを楽しみます！	
育休・育児体験談	
<p>子どもが幼稚園児になる前の一年間、仕事（会社勤めのサラリーマンです）を休んで育児に専念しました。</p> <p>子どもがまだ、おなかにいる時から、会社での残業をしないように仕事をして、誰よりも早く出勤して、そして、誰よりも早く、退社するということを試みました。1 年間での残業ゼロはさすがに無理でしたが。。。 (笑)。</p> <p>子どもが産まれてからは、朝の出勤前には、妻よりも早く起床して、毎日、自分の弁当（内容は簡単なものですが）は、自分で作り、余裕がある時は、妻の朝食も準備して、家をでました。冬の時期は、妻が起きやすいように、部屋を暖めておくこともしました。妻の負担を少しでも軽減するためにやってみました。</p> <p>子どもが、はいはいをできるようになるまで、週末は、妻と私で、交替でずっと子どもを抱っこしながら話しかけながら過ごしました日も多々ありました。また、週末には、私が早起きをして、妻が寝ている間に子どものおむつを替えて、こそ〜っと子どもを連れて、早朝の散歩にでかけることも、少なからずやりました。これは、妻が起きた時に 1 人で、ゆっくりとしてもらうためです。</p> <p>深夜の授乳、夜泣きにもできるかぎり対応しました。私自身、子どものぐずりに反応してしまって、妻と一緒に起きていた感じです。その時は、ミルク作ったり、深夜のドライブに出たりと、今思い出すと大変だったけど、いい思い出です。</p> <p>そして、私の願望であった一年間の休暇を、子どもが 2 歳になった時に、思い切って取りました。</p> <p>休暇中には、私と子ども、二人で公園に行き、平日ですから、ママさん達しかいませんが、そのママさん達と会話したり、プレ幼稚園（未就園児クラス）には、ママさんだけの中へ、唯一のパパとして子どもと一緒に通いました。私がプレ幼稚園へ行ってる日は、妻は自由日として、子どもとその時の家事の対応はすべて私担当。それを、半年以上続けました。普段でも家事は、やっていた。が、妻に言わせれば、もっとやって欲しかったといわれています。。。 (笑)。</p> <p>休暇中は、妻のママ友さん達の会話にも積極的に入って行って、情報交換したり、相手の子どもと遊んだり、とても楽しい時間を過ごしました。</p> <p>子どもが幼稚園に入るところに、休暇も終わり仕事復帰。そこでも、一応、子どものイベント優</p>	

先で、できる限り平日でもイベントへ参加。園ではママさん達を中心となり、園のサポート活動をしてきましたが、そこへ、例外としてパパとして幼稚園イベントに協力。ちなみに、園は数百名を超える園児がいるので、その親御さんの中で、男性としては唯一、私だけそのサポート活動への参加を認めてもらいました。うれしかったです。

そこまでいくには、いろいろと活動し、ママさん達のサポートをして、ママさん達とのコミュニケーションもとって、やっと認められた感じでした。2年がかりでしたけどね（笑）。やっぱり、いろんな子育て、育児の現場で、ママ、パパが協力してやっているという姿を子どもたちに見せるのは大切だと感じました。

まだまだ、いろいろとやってきましたが、子どもも4月から小学生になります。たくさんの思い出を家族で作ってきたと思っています。育児を通じて、子育てを通じて、いろんなことを親として学んだ年月でもありました。毎日が、子どもの成長とともにあった気がしています。これからも、育児、子育てを楽しんでいきたいと思っています。